

賃金不払残業の解消のための取組事例

事例1（業種：卸売業）

賃金不払残業の状況

- ◆ 終業時間後の時間外労働に対する割増賃金が支払われていないとの情報を基に、労基署が立ち入り調査を実施した。
- ◆ 会社は、出勤簿への押印と残業申請書により時間外労働の管理を行っていたが、会社が把握している時間外労働時間とパソコンの使用記録との間にかい離が認められるなど、賃金不払残業の疑いが認められたため、労働時間の実態調査を行うよう指導した。

企業が実施した解消策

- ◆ 労働者に個別に確認をとるなど労働時間の実態調査を行った上で、不払となっていた割増賃金を支払った。
- ◆ 賃金不払残業の解消のために次の取組を実施した。
 - ① 勤怠管理表に各労働者が始業・終業時刻を記入し、管理者が実態と相違ないかを確認することとした。
 - ② 終業時刻に担当者が職場内を巡回し、残業申請することなく時間外労働を行っている者がいないかを確認することとした。

事例2（業種：運輸交通業）

賃金不払残業の状況

- ◆ 始業時刻前の除雪作業が労働時間として算入されていないため割増賃金に不足が生じているとの情報を基に、労基署が立ち入り調査を実施した。
- ◆ 会社は、タイムカードにより労働時間を管理していたが、始業時刻前の労働に対する割増賃金が支払われていなかったため、不足額について実態調査の上支払うよう指導した。

企業が実施した解消策

- ◆ 労働時間の実態調査を行った上で、不払となっていた割増賃金を支払った。
- ◆ 賃金不払残業の解消のために次の取組を実施した。
 - ① 始業時刻前に機械の試運転等の労働は原則として行わず、始業時刻後に行うよう徹底することとした。
 - ② 始業時刻前に除雪作業などを行う場合は、届出書を提出させることにより時間外労働を把握することとした。